

寒さの中にも、どこことなく春のよそおいが感じられるようになってきました。ばら組さんはいよいよ卒園の時を迎えます。小学校への期待も一日一日膨らんでいるようです。篠山保育園の年長さんとしてしっかり育ち、あとは自分たちが築いてきたものをふじ組さんたちに引き継いでいきます。また、在園のみんなも進級への意気込みが感じられます。「わたしなんでもできるようになったもん!」、「ともだちがたくさんできたよ」と自信がみられます。

残りの一カ月は各クラス、生活の見直しを行いじっくり子どもたちとかかわっていきたいと思います。

行事等では、事業後援会の役員さんをはじめ多くの保護者の方々のお力をお借りして運営することができました。園長として、感謝の気持ちでいっぱいです。子どもたちもお父さん、お母さんの姿をしっかり受け止めていることだと思います。一年間ありがとうございました。



### 「おにはそと! ふくはうち」

2月3日、いつもとは違う保育園の空気!

子どもたちの心もどことなく落ち着きがないような感じでした。10時30分予定通り園内に太鼓の音が響き渡り、赤鬼と青鬼が1階の廊下に現れました。保育室の入口の所に立って子どもの反応を見ていました。

今年は、新型コロナ予防対策の一環で、子どもたちが恐れて泣きじゃくることが予想されるため、鬼は室内に入室せず廊下で振る舞うこととなりました。それでも、怖いことには変わりませんが。鬼たちは、「わるい子はいないかあ〜」、「甘いものばかり食べている子はいないかあ〜」と言わんばかりにこん棒を振り回していました。子どもたちは「手作り豆」で一斉攻撃。もも、ふじ、ばら組の子どもたちで力を合わせ、鬼退治。時間が経つにつれ鬼は次第に弱まり、力尽き逃げていきました。子どもたちの勝利で終わりました。



**気をつけてください** 気温があがってくると、気持ちもどことなくゆるんできます。そんな時“うっかり!”車の『ロック忘れ』。車上荒らしがねらっています。また、貴重品が入っていないバッグ類でも車上荒らしにとっては、「貴重品が」と思い、ガラスを割ってでも犯行におよびます。修理代の方が高くなります。以前、保護者が被害に遭いました。気をつけましょう。

## ささやまっこだより

### 3月の行事予定表

- 3日(水) 剣道教室
- 6日(土) 剣道納会(ばら組)
- 10日(水) 誕生会
- 11日(木) 卒園式リハーサル
- 17日(水) お別れ会
- 20日(祝) 第43回卒園式
- 25日(木) 避難訓練
- 27日(土) 第44回入園式、園内研究会
- 31日(火) 新年度準備



通常保育ですが、ご都合のつかれる方は、早めのお迎えにご協力ください。(午後4時以降)

8日 … えいごであそぼう(ふじ組)

1日 … えいごであそぼう(ばら組)

3月は、園だよりが2回ですので お楽しみ

### わたしたちだって お世話できるよ!



年長ばら組さんは小さいクラスのお友だちのお世話をしてくれているのですが、ふじ組さんもその姿を見習ってお世話しています。園庭で遊んでいるさくら組さんと砂遊びをしたり、お部屋へ入る時間になったさくら組さんの手を引いて、2階のお部屋まで連れて行ってくれたりと、次に年長さんになる自覚が芽生えてきているようです。頼もしい限りです。



3月号

令和3年3月1日  
篠山保育園園長 足立善一郎

もうすぐ たんぽぽ組だね



あかちゃんだったすみれ組さんも、すっかりおにいさんおねえさんになりました。同じクラスの仲間の顔や、性格も何となくわかってきているような感じです。足腰もしっかりしてき、歩くことが楽しくてしょうがない時期のようです。ベランダに出て靴を履いてお散歩気分。友だちが揃うまで世間話をしているような時間が流れていました。



### 日本太鼓 集大成!



ばら組さんの日本太鼓は、生活発表会をもって終わりました。運動会の時より一段と勇ましく、音楽に合わせてリズムカルに打ち上げました。他のクラスの保護者の皆さんにもお見せしたかったですが、“一致団結”したばら組さんの顔は凛々しかったです。次は、ふじ組さんへと引き継いでいきます。

『いっしょに笑う。手をつないで歩く。いっしょにあそぶ』  
親のやることを子どもたちはよくみえています。そして真似をします。親子で手をつないで歩き、いっしょに遊び、いっしょに笑う。子どもが一人で歩くことを望むまでは、手をつないでいっしょに歩きましょう。お風呂の入り方だって、親を見ながら覚えていきます。



◇『不安な気持ちを受け止める』

「こわい」と立ちすくんだ子どもに、「弱虫ね」なんて言っていないか。「こわいね〜」とその気持ちを受け入れて、子どもと不安感を共有して、それから「大丈夫よ」と守ってあげる。守られているという安心感と共に子どもは「こわさ」を一つひとつ克服していきます。



「かわいがり子育て」より 佐々木正美 著